2018年11月号

五反田
益田　隼人（はやと）さんの巻
長男　翔矢（しょうや）くん（5歳）
長女　莉愛（りあ）ちゃん（3歳）

　息子は今年から幼稚園に通い始め、娘は児童センターや一時保育でお世話になり、様々なことを経験してすくすくと育っています。
　思えば、息子が生まれた時は初めての子育てで、僕にとってもちろん未経験のことの連続、祖父母に助けてもらいながら妻と試行錯誤の日々でした。二人目の娘の時は、生まれて家に帰った時から夜泣きが始まり、何ヶ月かは僕も妻も睡眠不足の日々が続きました。息子の時には経験したことがない苦労もありましたが、兄妹でもこんなに違うんだなと感じたことを思い出します。そして一人と二人ではとても負担が違う、一人だとかかりっきりになれるけど二人だとそうはいかない、そんな大変さも知りました。
　二人は性別の違いがあるので好みも違ってくるのですが、遊ぶ時には不思議と同じような遊びをして一緒にいます。仲良く遊んだり喧嘩をしたり、お互い気になるようで刺激し合っています。二人とも公園で遊ぶのが大好きで、天気のいい日は二人をよく公園へ連れていきます。遊具で遊んでいる姿を見て、日々の成長ぶりを嬉しく思っています。また、最近は自我が芽生えてそれぞれの自己主張を言うようになり、収拾がつかなくなる場面が多くあります。自分の意思を持つという嬉しさの反面、新たな難しさを感じているところです。
　子育ては僕だけではもちろん出来る筈もなく、妻や祖父母などの家族をはじめ、地域の方々、その他にもたくさんの人の支えがあって成り立っているのだと実感しています。そのようなたくさんの人たちとの関わりがあって、子育てというのは大変だけど、それ以上の喜びや楽しみがあり、親にとっても子供と一緒に成長できる機会だと感じています。
　どんどん新しいチャレンジをしている二人ですが、これからももっといろいろな経験をして、そこから何かを学んだり感じたりしながら成長していってもらえたらいいなと思います。